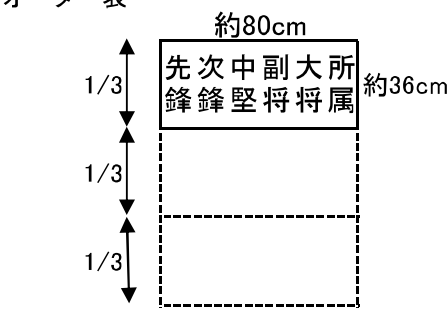


大会要項

名称	第53回 静岡県東部少年柔道大会					
主催	静岡県東部柔道場連盟					
主管	田方地区(伊豆市柔道部、大仁柔道会、伊豆長岡柔道会、韮山柔道教室、函南柔道会)					
後援	静岡県柔道協会東部支部・公益社団法人 静岡県柔道整復師会東部支部・伊豆の国市					
日時	令和6年10月6日(日)午前9:30開会(9:00審判監督会議)					
会場	伊豆の国市 長岡体育館 (伊豆の国市南江間2125の1 電話055-948-1123)					
申込	下記へeメール・振込。(郵送・持込の受付は行っておりません。)					
	×切り	令和6年8月19日(月)				
	申込先	jimukyoku@toubujudo.org (送信の表題は「東部大会／〇〇道場」)				
	参加料	団体5・6年 3,500円	団体3・4年 2,500円	個人 1,000円		
	振込先	銀行名: ゆうちょ銀行 名義人: 静岡県東部柔道場連盟				
		ゆうちょ銀行から	記号	12370-2	番号	10710041
他銀行から		店名	二三八(ニサンハチ)	店番	238	
	預金種目	普通	口座番号	1071004		
抽選	日時	令和6年8月31日(土)午後6:30～				
	場所	清水町体育館 会議室				
	その他	抽選会は弁当を用意します。準備のため申込書に参加人数をご記入下さい。 抽選会は兼理事会の為、欠席理事は委任状(HPにあります)を出して下さい。				
参加資格	静岡県東部柔道場連盟に加入している道場に所属する小学2～6年生。					
	参加する道場を通じて全柔連登録済みであること。					
	傷害保険に加入していること。(例: スポーツ安全保険等)					
	保護者から本大会の参加承諾書を得ていること。(承諾書は各団体で保管)					
	大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。(別紙参照)					
	皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。					
	団体戦におけるチーム数、個人戦における人数の制限は、それぞれない。					
5・6年生の部: 個人戦参加選手2名以下・3・4年生の部: 個人戦参加選手1名以下の団体に限り合同チームに申し込むことができ、申込状況により本部で調整し、抽選会にて了承を得る。						
試合方法	勝ち残り式(トーナメント)					
	団体	5・6年生の部: 選手5名、監督1名(3名以上・補員なし)。				
		3・4年生の部: 選手3名、監督1名(2名以上・補員なし)。				
		学年に関係なく、大将を最重量とする体重順に配列する。				
		欠員が生じた場合、個人戦のみに登録している選手を充当できる。その際、改めて体重順に配する。				
		交代または欠場した選手は、以後の団体・個人戦共出場できない。				
人数が満たないチームの配列は、大将側に詰める。(勝ち上がった途中でも)						

大会要項

試合方法	個人	階級	男子	6年45kg超級、同45kg級、5年40kg超級、同40kg級、 4年35kg超級、同35kg級、3年31kg超級、同31kg級 2年27kg超級、同27kg級（10階級）
			女子	6年、5年、4年、3年、2年（5階級）
当日の計量で、1kg以上の超過は失格とする。各以下級のみ計量する。				
審判	国際柔道連盟試合審判規定(2022-2024)および全日本柔道連盟「少年大会特別規定」。 本大会要項。本大会申し合わせ事項。			
	時間	団体(代表戦含む)・個人共 全試合2分。ゴールデンスコアはない。		
	団体	勝負の判定基準は、本戦は「僅差」(指導差が2＝指導差1は引分)、 代表戦は個人戦と同じ(指導差1は旗判定)。		
		「勝ち」の内容*で勝敗を決する。同内容の場合は、代表戦を行う。 (*「一本」＝「反則勝ち」>「技有り」>「指導」の差2) 代表戦は、任意の選手により1試合行う。		
	個人	勝負の判定基準は、「判定」(指導差1は旗判定)。		
服装	柔道衣は白色(さらし可)のみとする。青白は紅白と読み替えて、紅または白の帯を柔道着の上につける。 開会式終了後審判員が柔道着の確認を行うが、最終判断は各試合です。			
表彰	団体	1位～8位まで表彰する。		
	個人	1位～3位まで表彰する。		
大会中事故・負傷等が発生した場合、応急処置は行うが、責任は負わない。				
団体戦のチームは、本大会様式の掲示用オーダー表を用意すること。(下記参照)				
会場内の撮影により人物が映り込む場合があり、それらは、インターネット配信やWEBなどに掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。				
成長過程にあることを重視し、減量を行ってはならない。				
参加選手は、背中にゼッケンを縫い付ける。(布地は白色、上段2/3に名字(姓)、下段1/3に所属名)				
オーダー表				
				

脳震盪対応について

ジュニア(20歳未満)以下の選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。